



### 「逃げるプロ、逃がすプロ」

先週7日(火)に「火災避難訓練」を実施しました。本年度の避難訓練は5月の「地震避難訓練」、6月の「大雨時引き渡し訓練」、11月の「不審者避難訓練」に続き4回目でした。毎年の事ではありますが、本校ではこれらの避難訓練を重ねています。回数を減らし、内容を隔年ごとに分けて実施すればという考え方もあるのかもしれませんが、命を守る訓練は続けてこそです。

学校という場ですから、毎年、生徒と職員が変わります。そして、生徒の学級集団が変わり、教室の場所も変わります。だからこそ万が一の時にどのように行動すれば、まずは自分の命を守れるのか、そして集団行動の力をどのように高めればお互いの命を守ることにつながるのか、繰り返し訓練を重ねていくしかありません。こういう学習の成果を発揮する場に出会わないことが何よりの願いではあるのですが、万が一の状況には、いつ何時出くわすかわかりません。だからこそ、このような訓練の経験が少しでも記憶に残り、それが命を守ることにつながるのであれば何度でも訓練を重ねます。

今回の訓練にご協力いただいた阿蘇広域消防本部北部分署の方からはその講評の中で、「皆さんは『逃げるプロ』になってください」との言葉をいただきました。この言葉を借りるならば、生徒の命を預かる私たち職員は「逃がすプロ」にもならねばと思う次第です。今回の訓練担当の森田教諭は、既に次年度の訓練に向けて構想を練り始めています。より実際に即した訓練になるはずです。各ご家庭でも家族の避難ルールを定期的に話題にしてみてください。



### 「自らを守る力」

9日(木)、全校生徒でNTTドコモ「スマホ・ケータイ安全教室」に学びました。このことについては、昨今、スマートフォン等の急速な普及に伴い様々な社会問題が発生しており、本校も例外ではない状況だからです。しかしながら、今後の社会状況を考えるならば使うなという指導ではなく、上手な使い手として力をつけていくことが欠かせないからこそこの学習でした。本校生徒会も、8年前から本校独自の情報機器ルールを掲げて取り組んではいますが、これも定期的な見直しと周知活動を続けてこそです。子どもらに様々なリスクを回避する力を身につけさせるためには、何よりも各ご家庭で「使用上の約束」を話し合い、そして、定期的に確認し合うことをお勧めします。自らを守る力は将来にわたる力になります。



【 ていねいにご指導いただきました 】



【 落ち着いてできました。 】



【 感謝の言葉を伝えています。 】

### 小国中情報機器3箇条

- 3:30分でひと休み**  
※長時間使用をやめる!
- か:家族で決めたルールの厳守**  
※家庭で確実にルールを決めて実施!
- じょう:常識ある言動を!**  
※相手を傷つける言葉や、自分を危険にさらす行為×!

【 現在の小国中ルール 】

何よりも各ご家庭で「使用上の約束」を話し合い、そして、定期的に確認し合うことをお勧めします。自らを守る力は将来にわたる力になります。